

南仏治安情報 (2012年11月)

■プロヴァンス地方

1. 年末における強盗事件の増加

11月には地方紙が報じただけでも商店等を狙った強盗事件が22件発生しました。年末商戦が始まった同月末には、各店舗とも警備員の増員等の防犯対策を講じていましたが、クリスマスまで1ヶ月と迫った24日土曜日にはマルセイユ市のGrand Littoral 内の宝石店に強盗4人が自動小銃を携え侵入し貴金属を奪い逃走しました。また同日Carrefour Les Milles店内の宝石店も閉店時に強盗に遭いました。

2. 新聞販売店での強盗殺人事件の発生

凶器を用いた強盗事件等が頻繁に発生しているマルセイユ市ですが、11月には一般市民が被害に遭い死亡しました。11月9日、4区で新聞販売店を営んでいた男性が強盗に遭い刃物で胸部を3回刺され死亡しました。金融機関やスーパー等では強盗対策のため大金を保管していないことから、最近ではタバコ・新聞販売店等が強盗の対象にされるケースが増えています。なお、この事件は、治安対策の一環として11月初旬マルセイユ市で警察官が増員になった直後の出来事でした。

3. 現金自動支払機利用時を狙った現金盗難の発生

以前、マルセイユ市では同市特有の犯罪手口で、現金自動支払機に取り付けられた Collet Marseillais と呼ばれる仕掛けにより、キャッシュカードが盗まれる事件が相次ぎましたが、最近では現金取り出し口にアルミ製の装置が取り付けられ紙幣が盗まれる事件が複数確認されています。この犯行の多くは、被害者が金融機関の職員に申し立てできないように、金融機関の窓口が閉まっている時間帯に多く発生しています。

4. Sainte-Marthe 駅構内の治安悪化について

SNCFのMarseille St-Charles 駅とSt-Antoine 駅間に位置するSainte-Marthe 駅は地域住民からの需要があるにも関わらず、実際は治安の悪さから利用を控える人が少なくありません。同駅構内では、注射器で麻薬を打つ等する者もいたため、SNCF は静脈が見えにくくなる青色ネオンの設置を決定しました。しかし、同対策は問題の根本的解決にはなっておらず、利用者からは警察のパトロール強化が求められています。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. アルプ・マリタイム県における凶悪犯罪の増加

アルプ・マリタイム県の発表によると、同県における今年初頭から10月までの間に発生した犯罪発生状況は次のとおりです。発生が減少した罪種は、空き巣(前年比-12,5%)、器物損壊行為(同-19,43%)、銃を使用した強盗(同-59,09%)等でした。反対に増加した罪種は、女性に対するひったくり(前年比+42%)、破壊を伴った窃盗(同+18,55%)、わいせつ行為・強姦(同+11,75%)、殺人(同+143%)等で凶悪犯罪の発生が増加しています。

2. ニース市複数地域を治安対策優先地域に指定

8月の発表では国の治安対策優先地域に指定されなかったニース市ですが、市の外周地域では薬物売買や暴力行為が蔓延しており、Valls内相は犯罪組織の拡大を阻止する目的で11月15日、ニース市 Les Moulins地区、Les LiseronsとBon Voyageを含めたL'Ariane周辺地区、またニース市東側に位置するDrap、La Trinité、Cantaron、St-André-de-la-Roche、Falicon の5地域を新たに治安対策優先地域に指定しました。

3. ニース市西部の住宅内で爆破物を発見

ニース市Pasteur地区の集合住宅入り口のメーターボックスが何者かにこじ開けられ、中に棒状の爆発物4本と6つの起爆装置が仕掛けられているのが住民により発見されました。爆破装置は不完全で機能する状態ではなかったものの、警察は同事件の捜査を進めています。

4. コルシカ島での連続暗殺事件

コルシカ島Ajaccioで11月14日夜、島南部の商工会議所の所長を務めるJacques Nacer氏自身が経営する店で、覆面をした男に複数回狙撃され死亡しました。同氏は1ヶ月前に暗殺されたSollacaro氏が弁護士を務めていたフットボールクラブで事務局長も務めていました。また11月20日にはBastia南部のガソリンスタンドで、ポルトガル人起業家が銃で撃たれて死亡しました。

■ミディ・ピレネー地方

1. トゥールーズ市周辺でのカージャックの発生

11月にはトゥールーズ市内及び近郊で5件のカージャック事件が発生しました。凶悪なものでは被害者が自宅付近で車に乗車し駐車していたところ、車から降車するように発砲され、肩に怪我を負わされました。また、道路に置かれた障害物を動かそうとして車から降車した際、車を奪われる事件が2件発生しました。いずれの事件も見通しの悪い夜間から早朝にかけて発生しています。

2. トゥールーズ市 Cartoucherie での不発弾処理

トゥールーズ市がGIAT（武器製造会社）より購入した土地から不発弾が見つかった為、11月1日より28日迄の予定で始まった撤去作業ですが、11月末時点で約1万個もの不発弾が掘り起こされており、未だ発見されていない不発弾も多いことが予想されるため、作業が2ヶ月延長される事になりました。これに併せてLa voie du Toecも1月末まで日中は通行止めになる見通しです。

3. モンペリエ市でトラム内のひったくり事件が多発

モンペリエ市を走るトラムの車内で、学生が携帯電話、鞆、ネックレス等の貴重品をひったくられる事件が多数発生しています。被害の多くはモンペリエ大学の学生で、大学は学生に車内で荷物を手から離さない、特にドアの閉まる際は気をつける事、また被害に遭った場合は速やかに警察(17番)に通報するよう注意を呼びかけています。

4. 偽業者の訪問に注意

冬が近づき暖炉を備えた家庭を狙って偽の煙突業者の訪問が増えています。偽訪問者は組合から配管・煙突の点検要請があった等と説明し代金を要求しますが、本来煙突掃除はChambre des métiersに登録された資格の有る業者だけが行えることになっており、作業の際は費用、含まれるサービス等を事前に確認する必要があります。例えば、業者には万一の災害の場合に備え保険が下りるよう保証書を発行する義務がありますので、その確認等を行うことが被害予防になります。